

**プログラムの目的**

調査の考え方が、最近大きく変化しています。多くのヒット商品開発担当者が「もう、調査は当てにしない」といっています。それでは、調査は「もう役に立たなくなった」のでしょうか？

たしかに優れたマーケターは、その観察力をもって目の前にある出来事、日常にある情報から、これからのトレンドや生活者の興味、その興味の深度まで嗅ぎ分けることができます。…しかし、それは一握りのエキストリームなマーケターの成せる業です。企業が欲するのは「**全体の成功度のアップ**」であるはず。全体の成功度を上げる仕組みを持ってこそ、エキストリームなマーケターも活躍の場が増えるはず。もっと消費者を理解すべきだ！！これは、最近のマーケティングの大きな流れです。ですが実際は、一番の基本というべき「**消費者の生活事実・価値観**」が未だに置き去りにされています。

今回のプログラムは、マーケター(商品企画・開発、マーケティング担当)自身が、定性調査に踏み込み、モデレーター実習を経験する中で、**消費者の事実・ホンネを引き出す訓練**をしていただくものです。「消費者の聴き方」を6か月の講習で、他社の担当者との意見交換しながら、是非、身に付けてください！

講師プロフィール

柿沼 宏爾 氏

株式会社ドゥ・ハウス 取締役



1990年ドゥ・ハウス入社。入社後すぐに主婦マーケター(DOさん)の採用・研修業務に携わり、主婦の自宅で行うインタビュー型の「台所フォーラム」をはじめ、グループインタビュー、パーソナルインタビュー、日記調査、ネットグルイン、ネットアンケート、電話インタビュー調査、個別訪問調査、店頭調査など、幅広いリサーチプロジェクトを多数実施。

2014年、「ディスカッションの見学がもっと快適になるように、参加者がもっと普段着でくつろげるように」というコンセプトの「インタビュールーム新橋」をデザイン。現在も、各種定性情報処理サービスの開発、新商品アイデア開発をテーマとしたワークショップの運営・実施などに取り組む。

本講座へのお申込みは、下記ホームページからアクセス。

<http://www.marketing.or.jp/>**お問い合わせ先**

1957年設立の販売実務協会の志を引き継ぎマーケティング共創協会は活動しています



一般社団法人マーケティング共創協会

〒104-0041 東京都中央区新富1-8-2, 4F

TEL:03-3297-3141 FAX:03-3297-3810

E-mail / mcca@marketing.or.jp

第1回 マーケターのための 定性調査実践講習

**消費者からのチャンス発見！
「消費者を聴く」モデレーションを経験する**

2016.10スタート 6か月間 6回の講習**◆この講座の特徴**

- 1 マーケター(商品企画・開発者含む)のための顧客の事実・ホンネを引き出す講習です**
調査を調査担当に任せきりにしていませんか？調査結果から、本当に顧客のホンネをつかめていますか？調査会社に頼むにしても、どうやったらホンネを引き出せるのか？まずは、自分で体験してみることが大事です。インタビューフローを作成し、モデレーターを体験しながら、顧客の事実・ホンネに迫ります。
- 2 他社のマーケターと一緒に学び、考え、実践していただきます**
他社のマーケターと一緒に取り組むことで、日常業務からは得られにくい知見も得られます。定性調査で、どのような視点を持って観察し、どのように顧客のホンネに気付くのか？企業によっても「クセ」があります。一緒にワークをやりながら、お互いに「そこを見ていたのか！？」と、学び合う場もあります。
- 3 明日の調査から役に立つ、実践的な内容です**
今、やっている調査でも、即時役に立つ内容です。定性調査の活用方法を頭で学ぶだけでなく、インタビューされる側も実際に体験しながら、何を思い何を話したか？深く理解していくプログラムです。顧客の声に現れた言葉だけでなく、奥深く理解するための「観察力」を高めるプログラムです。

このような方に
受講を
お勧めします

- ・消費者の事実・ホンネを実感したい商品企画・開発者
- ・調査会社に任せきりになっているマーケティング担当者
- ・商品開発の成功度を組織として上げたい担当者

セミナー概要

【日程】 2016年10月スタート 全6回のプログラム
10月25日(火) 11月29日(火) 12月13日(火)
1月24日(火) 2月21日(火) 3月14日(火)
各回 13:30~18:00

【費用】 CMSメンバー :1名 92,000円
(+ 消費税:7,360円)
一般 :1名 112,000円
(+ 消費税:8,960円)

※同一企業、2名以上でのご参加の場合は、ご相談ください

【会場】 下記2会場を使用(日によって変更あり)
(参加決定された方にお知らせいたします)
・JR新橋駅より徒歩約2分の会場
・JR浜松町駅より徒歩約5分の会場

【定員】 15名
※最少催行人数に達しない場合、
講座が開催されない場合がございます

プログラムの概要

Day1

10/25
(火)

13:30
~18:00

■ 序1:マーケティングの基礎を確認する

- ・なぜ定性情報が必要か？
- ・マーケティングにおける定性情報の位置づけとは？
- ・マーケティングに活かせる定性情報とは何か？

■ 序2:定性情報からアイデアを発想する

- 消費者ウォンツの探索
- 【実践ワーク】 定性情報を類型化する
- 【実践ワーク】 定性情報から消費者のウォンツを抽出する

- アイデアを発想する
- 【実践ワーク】 商品アイデアをアイデアラッシュする
- 【実践ワーク】 アイデアをコンセプト化する



キックオフ懇親会 18:00~19:30 (ご参加自由・費用別途)
約半年の間交流していくことになるご参加者同士の懇親の場です。

Day2

11/29
(火)

13:30
~18:00

■ 消費者を聴く技術Ⅰ — 探索フェイズ

- 消費者のウォンツを抽出し、商品・サービスのアイデアの芽を探索します。
- ・インタビュー調査の位置づけとは？
- ・インタビューモデレーター役割とは？
- ・プロモデレーターではなくマーケット自身が聴く意義とは何か？
- ・モデレーターの心構え・体構えとは？
- ・「ラボールの形成」はなぜ必要なのか？
- ・消費者に聞かず「消費者を聴く」ためには？
- ・探索フェイズにおけるインタビューのポイントとは？

1. 探索インタビュー(プランニング編)

- 【実践ワーク】 インタビューフローを作成する
- 【実践ワーク】 グループ内でインタビューを実施する



2. 探索インタビュー(実践編)

- 【実践ワーク】 実際に消費者をグループインタビューを実施する
- 【実践ワーク】 モデレーティングを観察して気づきから学ぶ
- 【実践ワーク】 自分のモデレーティングを振り返る



課題：
ご自身のモデレーティング映像、メンバーからの評価を持ち帰り、
育成点と改善点を見出します。

Day3

12/13
(火)

13:30
~18:00

Day4

1/24
(火)

13:30
~18:00

■ インタビュー結果から商品・サービスを発想する

- 前回、前々回のインタビュー結果から商品アイデアを発想し、コンセプト化。アイデアの【検証編】をプランニングします。
- ・注目すべき消費者の【行動】とは？
- ・インサイトをどう見出すか？
- ・(n=1)に注目する意義とは？
- ・商品コンセプトの構成要素、検討要素とは？
- ・消費者ウォンツと商品ベネフィットをどう結び付けるか？

3. アイデア発想~コンセプト開発

- 【実践ワーク】 インタビュー結果から消費者ウォンツを抽出する
- 【実践ワーク】 消費者ウォンツからアイデアを発想する
- 【実践ワーク】 アイデアをコンセプト化する

Day5

2/21
(火)

13:30
~18:00

■ 消費者を聴く技術Ⅱ — 検証フェイズ

- コンセプト化した商品・サービスの受容性を探るとともに、育成点・改善点を得ます。
- ・検証フェイズにおけるインタビューのポイントとは？
- ・ポテンシャルを測るための商品の段階的な評価とは？
- ・消費者の「買いたいと思う」に騙されないためには？
- ・消費者の意見(ああして) (こうして)に惑わされないためには？
- ・消費者評価のホンネを得るためには？
- ・消費者評価をコンセプトをどう活かすか？

4. 検証インタビュー(プランニング編)

- 【実践ワーク】 インタビューフローを作成する

5. 検証インタビュー(実践編)

- 【実践ワーク】 実際に消費者のグループインタビューを実施する
- 【実践ワーク】 モデレーティングを観察して気づきから学ぶ
- 【実践ワーク】 自分のモデレーティングを振り返る



6. アイデアのブラッシュアップ~コンセプト完成

- 【実践ワーク】 評価結果を分析する
- 【実践ワーク】 コンセプトを完成させる

修了懇親会 18:00~19:30 (ご参加自由・費用別途)
約半年の交流を深めたご参加者同士の懇親の場です。
今後の交流、そして共創にもつながる場になればと考えております。

Day6

3/14
(火)

13:30
~18:00

注意事項

- Day2~Day3, Day4~Day6 は連続したプログラムとなっております。そのため、プログラムが多少前後する場合がございますので、予めご了承ください。
- 誠に恐れ入りますが、以下が使用できるノートパソコンと、イヤホンをお持ちください。
・インターネット接続 ・USB接続 ・動画ファイル閲覧
※お持ちいただくことが難しい場合は、その旨お知らせください。